

II 相談状況

令和2年度の相談受付件数は7,233件(前年度7,440件)で前年度比97.2%である。

相談種別で最も多いのは養護相談3,090件で、そのうち児童虐待相談が2,238件(全体の72.43%)である。

次いで障害相談が3,080件、うち知的障害相談が2,968件(全体の96.36%)となっている。

経路別受付の状況は市町村(福祉事務所も含む)、家族・親戚からのものが大多数である。

(図2参照)

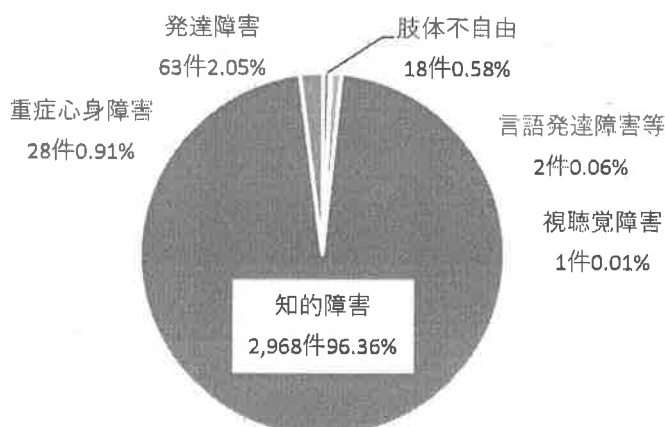
また、処理別状況は面接指導の中でも助言指導が4,810件(総処理件数の66.8%)と圧倒的に多く児童施設入所・通所は93件(総処理件数の1.3%)となっている。(図3参照)

図1 相談別受付件数

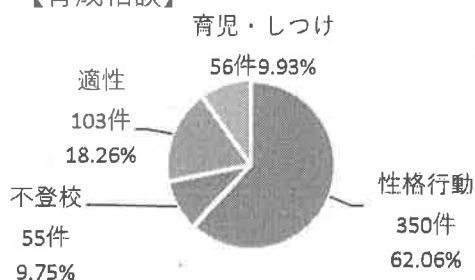
【養護相談】



【障害相談】



【育成相談】



【非行相談】

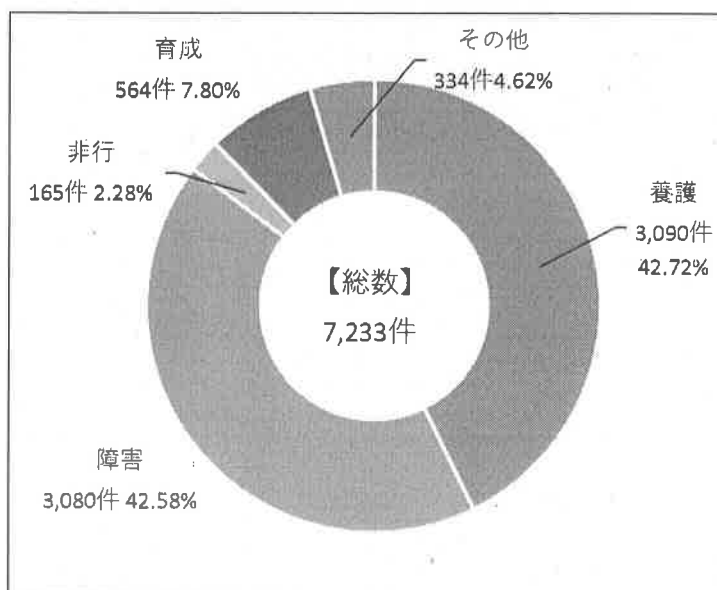
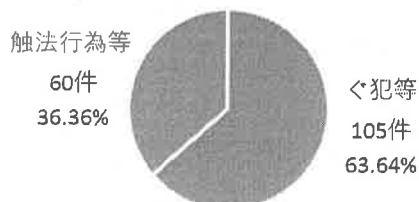
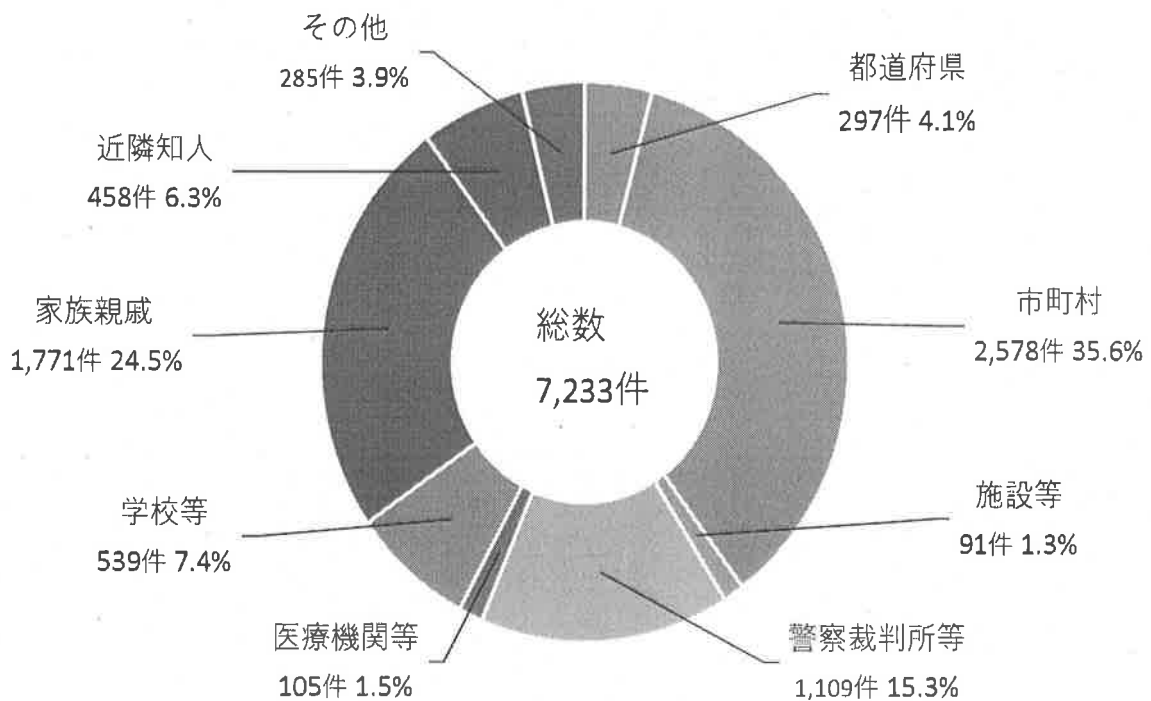


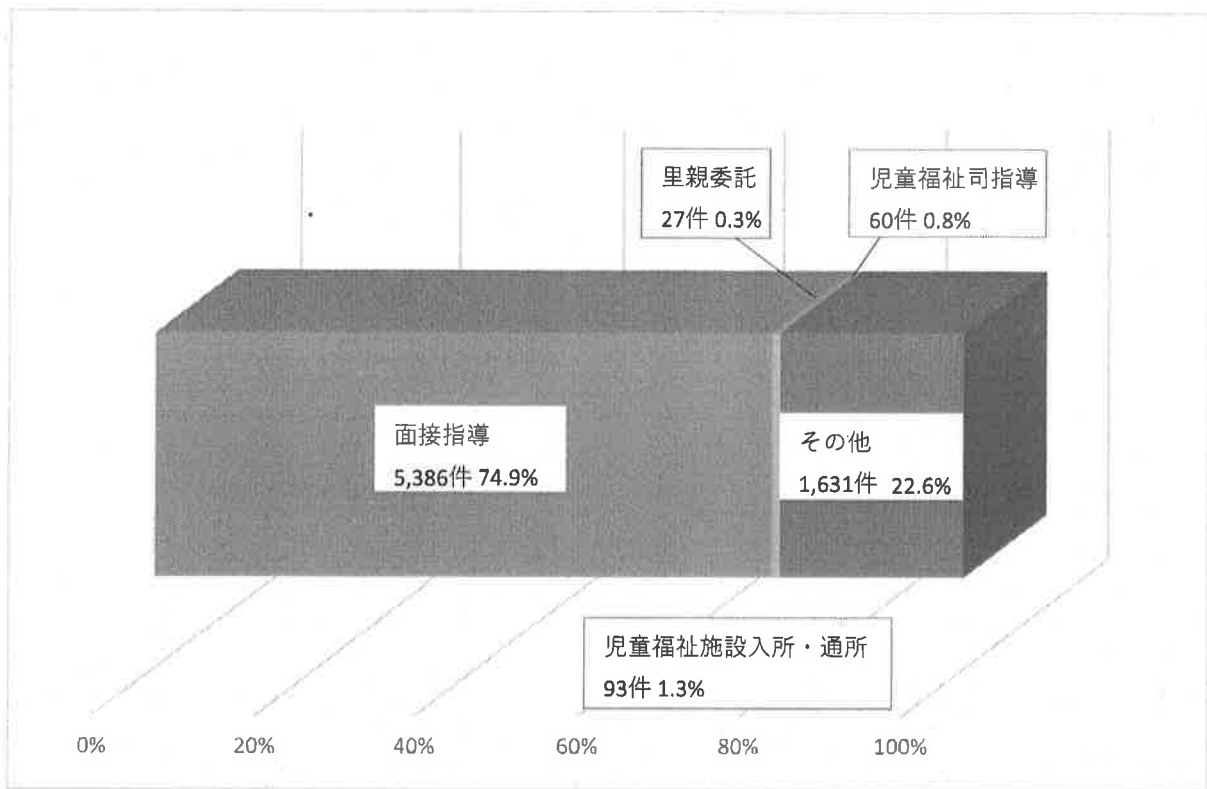
表1 相談種類別受付状況

	中央		西濃		中濃		東濃		飛騨		計		
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	
養護	児童虐待	1,019	33.6	344	29.9	463	32.6	308	26.5	104	22.2	2,238	30.9
	その他	389	12.8	174	15.1	144	10.1	76	6.5	69	14.7	852	11.8
	保健相談	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
障害	肢体不自由	10	0.3	1	0.1	3	0.2	3	0.3	1	0.2	18	0.2
	視聴覚障害	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.0
	言語発達障害等	1	0.0	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.0
	重症心身障害	18	0.6	3	0.3	1	0.1	4	0.3	2	0.4	28	0.4
	知的障害	1,116	36.8	437	38.0	620	43.6	572	49.2	223	47.6	2,968	41.0
	発達障害	8	0.3	8	0.7	11	0.8	35	3.0	1	0.2	63	0.9
非行	ぐ犯等	51	1.7	19	1.7	17	1.2	12	1.0	6	1.3	105	1.5
	触法行為等	32	1.1	7	0.6	15	1.1	6	0.5	0	0.0	60	0.8
育成	性格行動	135	4.5	58	5.0	66	4.6	54	4.6	37	7.9	350	4.8
	不登校	4	0.1	14	1.2	19	1.3	10	0.9	8	1.7	55	0.8
	適性	55	1.8	25	2.2	16	1.1	7	0.6	0	0.0	103	1.4
	育児・しつけ	15	0.5	22	1.9	8	0.6	5	0.4	6	1.3	56	0.8
	その他	178	5.9	36	3.1	38	2.7	71	6.1	11	2.4	334	4.6
	計	3,032	100.0	1,149	100.0	1,421	100.0	1,163	100.0	468	100.0	7,233	100.0
	前年度計	2,975		1,310		1,354		1,290		511		7,440	
	前年度比(%)	101.9		87.7		104.9		90.2		91.6		97.2	

図2 経路別受付件数



※年齢不詳の児童がいるため表1と図2の総数は一致しない。



【面接指導5,686件の内訳】

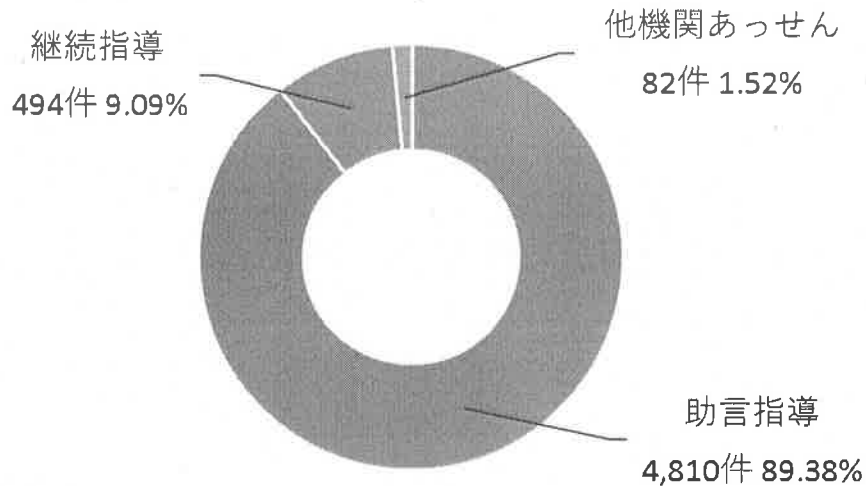


表2 【その他1,631件の内訳】

児童委員指導	0
児童家庭支援センター委託	22
市町村送致	102
福祉事務所送致	27
訓戒・誓約	30
指定医療機関委託	0
家庭裁判所送致	3
障害児施設への利用契約	28
その他	1,419

図4 年度別・相談種類別受付件数の推移

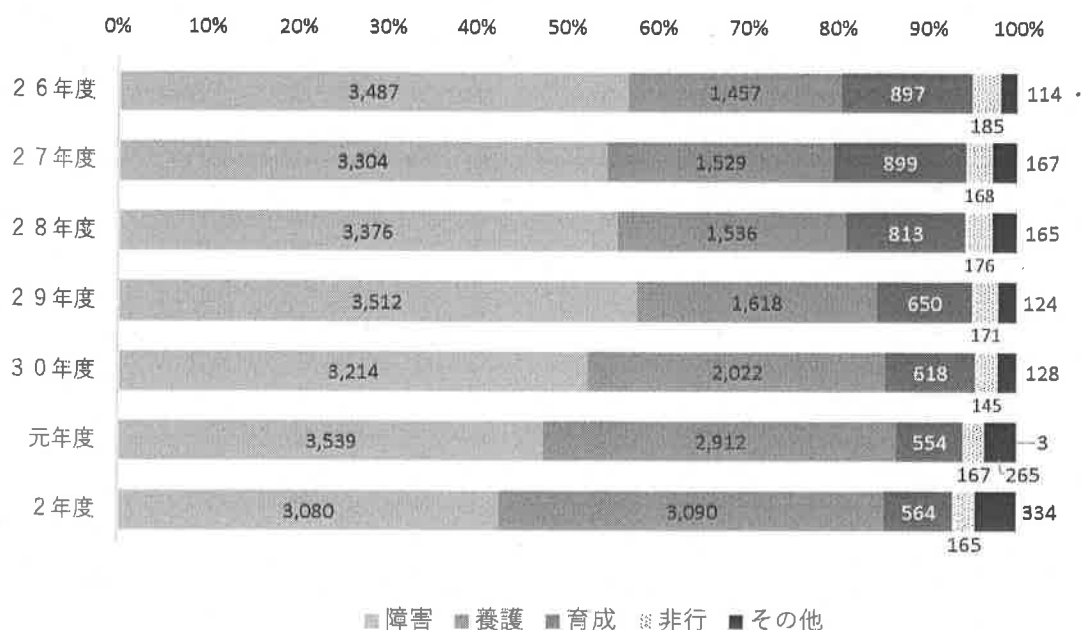
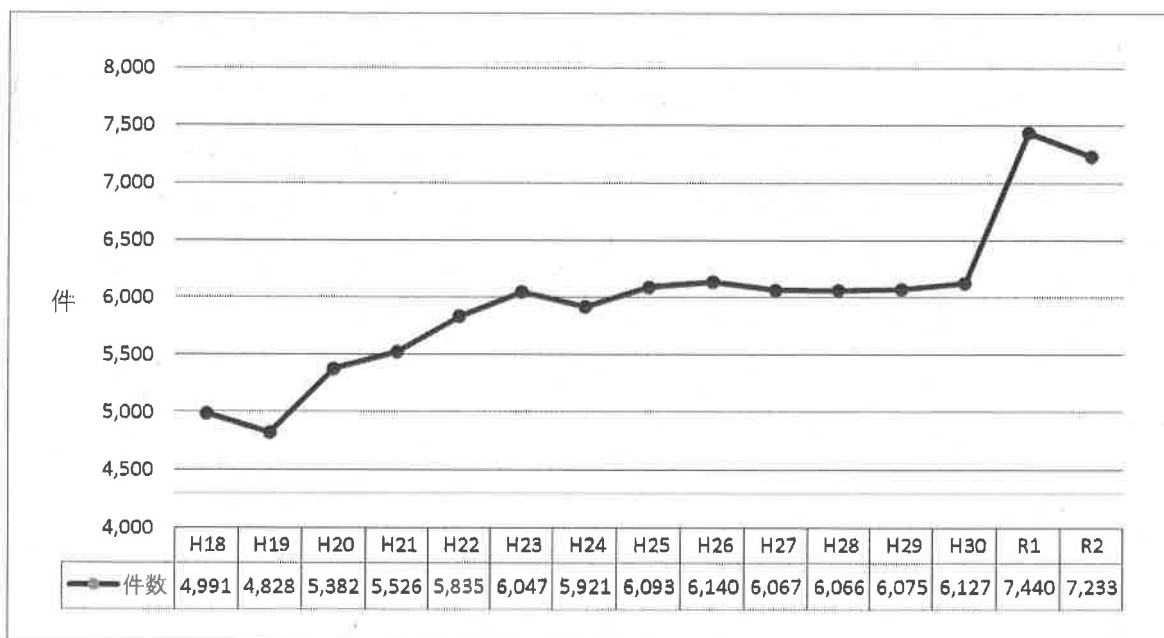


図5 受付件数の推移



養護相談の理由別対応状況（虐待）

令和2年度の養護相談の理由別処理件数は、巻末の業務統計に記載。

その養護相談(理由別)のうち、虐待相談の経路・虐待者・被虐待者の年齢・相談種別処理については次のとおりである。

表3 虐待相談の経路

種別 センター別	対応件数												
	都道府県	市町村	児童福祉施設等	警察等	保健所・医療機関	学校等	家族		親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
							虐待者本人	虐待者以外					
中央	48	90	7	411	29	219	23	50	8	140	14	12	1,051
西濃	10	48	5	109	4	65	18	15	2	62	4	5	347
中濃	16	92	4	162	10	84	27	24	8	34	8	12	481
東濃	11	50	4	90	4	31	16	11	10	51	2	2	282
飛騨	3	12	1	30	3	22	5	4	9	5	7	6	107
計	88	292	21	802	50	421	89	104	37	292	35	37	2,268

表4 虐待相談の主な虐待者

種別 センター別	対応件数					
	実父	実父以外の父親	実母	実母以外の母親	その他	計
中央	461	90	430	3	67	1,051
西濃	135	12	181	2	17	347
中濃	182	25	215	0	59	481
東濃	99	24	139	0	20	282
飛騨	41	7	45	0	14	107
計	918	158	1,010	5	177	2,268

図6 被虐待児の年齢・相談種別

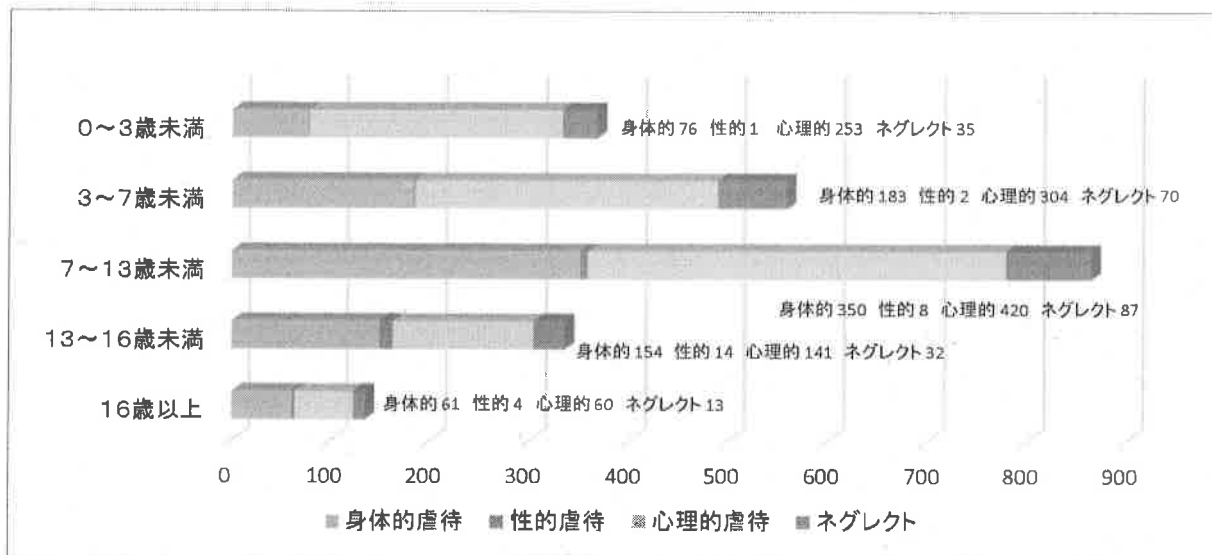


表5 虐待相談の対応

施設入所	施設入所					里親委託	面接指導 (助言指導、継続指導等)	児童福祉司指導	その他	合計
	児童養護施設	乳児院	児童自立支援施設	児童心理治療施設	その他					
46	34	3	1	5	3	10	2068	32	112	2,268

表6 虐待相談の対応件数の推移

年度		H27	H28	H29	H30	R1	R2
全 国		103,260	122,578	133,778	159,850	193,780	(速報値) 205,029
	岐 阜 県	1,018	1,004	1,095	1,405	2,280	2,268
内 訳	中 央	447	396	397	605	1022	1,051
	西 濃	152	188	189	218	387	347
	中 濃	165	187	231	274	475	481
	東 濃	167	149	193	202	286	282
	飛 騨	87	84	85	106	110	107

図7 虐待相談の対応件数の推移(岐阜県)

